



橋北の美

～学校だより～

令和2年1月28日(火)

第7号 文責:校長

津市立橋北中学校

新年が明けました。

新年、お穏やかな令和2年、2020年が明けました。

先日図書館の前の廊下を通りすぎたら、図書館の貸し出し冊数板が目に残りました。例年よりは少ないようで、12月9日現在で3246冊でした。

読書の利点は、時間さえあれば、場所を問わず私たちを見たこともなかった世界へと一瞬で運んでくれることです。また、こんな考えもあるんだと思ったり想像力を膨らませてくれます。さらに、たくさんの知識を増やし、漢字力や語彙力をつけることもできます。

毎日10分間の朝読書で、どれだけの学力が身につくことか、学力だけでなく、総合的な人間力をつけて、豊かな人生を送ることができます。

ぜひとも、無料で貸し出していただける図書館の素晴らしい本を、大いに活用させてもらいましょう。

恒例のPTAバザー・模擬店大繁盛！

大変遅れましたが、PTAバザーのお礼と報告をさせていただきます。

快晴の11月23日(土)にPTAバザーと模擬店が開催されました。PTA地域交流部作成によるPTAバザー等の案内が、各自治会で回覧されました。また、地域交流部の方は、とても寒いPTA室で値付け作業を行っていただきました。これらの作業から、橋北中学校区の生徒や地域の皆さんのためにという熱意が感じられました。

本年度も、バザー品がたくさんあって、本部役員の方も驚いてみえました。地域の方々も「家の押し入れを片付けていたら良い品が出てきたの。」と言って持参されました。本当に橋北中学校のことを大事に思っていることに感謝いたします。

当日はバザー開店前から長蛇の列ができていました。おやじの会【橋北中学校PTAのOBの方で構成されている団体】には、模擬店の豚汁と綿菓子を担当していただきました。前日から、大根やにんじん等の野菜を切ったり、豚汁用の大型の寸胴なべや綿菓子器を用意していただいたりしました。模擬店の売上金は生徒のために使わせていただきます。

PTAバザーは例年の光景ですが、商品の周りには人だかりができ大盛況です。11時開店でしたが、約2時間で大半の商品が売れました。販売の方も精算の方も大忙しでした。

11時30分から模擬店が始まりました。飲食コーナーでは、購入した食べ物を食べながら、楽しく談笑する生徒や地域の方の姿がありました。このような楽しい雰囲気のある橋北中学校の様子を見ると、心の中に温かい幸福感が満ちてきました。保護者の方、地域の方、そして生徒の皆さんが同じ場所で楽しい時間を過ごすことの素晴らしさに感動します。ありがとうございました。

約28万円の収益を有効に使わせていただきます。



学校評価アンケートを実施しました！

12月に生徒の皆さんと保護者の皆様に、学校評価についてアンケートを実施させていただきました。アンケートの結果につきましては、後日学校だよりで詳しく分析して報告させていただきたいと思っています。貴重なご意見もたくさんいただき誠にありがとうございました。正すべきところはすぐに直していきたいと思っています。ご協力ありがとうございました。

生徒集会12月9日 厚生委員会からのお知らせ

12月9日月曜日は、体育館で生徒集会が行われました。生徒会厚生委員会から、ベルマーク、古切手、使用済みのインクカートリッジを集めているというチラシが配られました。学級単位でまとめていただきました。お陰様でベルマークは5,350枚、インクカートリッジは310個、古切手779.1gが集まりました。橋北中学校の学用品を購入したり、国内外の援助活動金に役立てたりします。たくさんのご協力ありがとうございました。

職員室の窓から

12月10日火曜日は、風のない穏やかな日でした。

昼休みのグラウンドでは、男女仲良くバレーボールをしたり、サッカーやラグビーをしたり、野球のキャッチボールをしたり、大変微笑ましい光景で平和を感じました。これが「学校ですよねえ。最近グラウンドや体育館で遊ぶ姿が増えましたねえ。」と職員室での先生方の感想でした。

家庭科の先生が着任しました。

1月16日（木）より、貝塚裕香先生に代わって、三田智美先生が家庭科を担当することになりました。

1月22日（水）1年生の授業を見に行きました。ちょうど新しいミシンが入って、ティッシュの箱のカバーを縫製する作業でした。三田先生の説明はテンポ良く、作業もどんどんとスムーズに進み、時間通りにピタリ終了となりました。授業の終わりのあいさつの後、二人の男子生徒が、糸くずが気になったのか床に落ちた小さなそれを拾って捨ててくれました。

三田先生も大変感心しておられました。勤労奉仕の精神が自然と身についている行動であったなあと思いました。橋北の美を行動で示しているなあと、日常の小さな行為が大変嬉しく感じました。

応用力を付けるには

「教えることは2度学ぶことである」とは、フランスの道徳学者のジョセフ・ジュベールの名言ですが、授業の中で隣の友達に教えることは、正にこの2度学ぶことになるなあと考えます。

勿論、先生方も授業に入る前には、予習をしてプリントや提示物などの準備をします。先生方は、いつも念には念を入れて、何度も予習をしています。そして、先生方も生徒諸君に教えることで、しっかりと基礎力が確認でき、応用問題が次から次へと解けるようになっていきます。

本当の基礎力が付いたかどうかは、自分が教える側になれるかどうかです。教えられなかったら、もう一度基礎を復習しましょう！

それから蛇足ですが、学習したことを日にちが経つと忘れていきます。思い出すには、1か月後に同じ問題を解いたりすることが大切です。さらに、2か月後に、あやふやな箇所だけを確認します。すると、基礎力が完全に付いて、応用力がさらにアップします。